

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 レオン自動機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6272 URL <http://www.rheon.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 康憲  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括部長兼 (氏名) 宮岡 正 (TEL) 028-665-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	19,467	4.9	2,627	19.5	2,749	19.4	1,534	2.7
28年3月期第3四半期	18,564	10.2	2,199	54.8	2,302	49.6	1,493	27.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,950百万円(21.2%) 28年3月期第3四半期 1,609百万円(△23.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	57.31	57.26
28年3月期第3四半期	53.77	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	27,809	20,057	72.1	748.58
28年3月期	25,771	18,533	71.9	692.20

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 20,042百万円 28年3月期 18,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	7.00	-	12.00	19.00
29年3月期	-	10.00	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,400	1.2	2,980	25.7	3,040	20.6	2,000	16.9	74.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	28,392,000株	28年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,618,469株	28年3月期	1,617,945株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	26,773,846株	28年3月期3Q	27,774,292株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済政策や日銀の金融緩和策による雇用や所得環境の改善が続く一方で、個人消費は弱く、為替や株価などの不安定な動きがありました。緩やかな回復基調で推移しました。

海外におきましては、米国では景気の拡大が継続しましたが、新政権の政策の不確実性など不透明な状況です。欧州では、個人消費主導の緩やかな拡大が続きましたが、英国のEU離脱決定による経済の不安定化、難民流入問題や政情不安などの問題をかかえています。また、新興国の経済成長率は減速しており、依然として不透明な状況が続いています。

当社グループが市場とする食品業界は、品質向上や生産効率化・省人化などの課題をかかえています。また、食の安全性、健康志向の増大、環境問題など市場のニーズが多様化しています。

このような状況の下で当社グループは、変化する市場環境や経営環境に対応するため、市場動向を調査し、レオロジー（流動学）を基礎とする当社独自の開発技術の商品化およびソフト技術の充実により、食品機械のより一層の標準化推進と、安全性の向上を図るとともに、多様な消費者ニーズに対応できる商品群を国内および海外の食品業界へ提案してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は19,467百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益は2,627百万円（前年同四半期比19.5%増）、経常利益は2,749百万円（前年同四半期比19.4%増）、特別損失に土地、建物及び構築物等の減損損失292百万円を計上しており、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,534百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

報告セグメント別の販売の状況につきましては、次のとおりであります。

## 〔食品加工機械製造販売事業〕

(国内市場の状況)

国内市場では、外部顧客への売上高は前年同四半期比22.5%増加しました。部門別の状況と主な要因は以下のとおりであります。

- 1) 食品成形機の売上が前年より増加しました。
  - ・洋菓子業界でスーパーやコンビニ、通販向けの生産用として「火星人 CN020型」の販売が好調でした。
  - ・中華まんの生産用として「火星人 CN600型」の販売が好調でした。
  - ・火星人に接続して省人化が可能な「セットパンナー KP301型、KP302型」、クッキー生産用オプションの「重合ノズルソニックスライサー SK100型、SK400型」が和洋菓子業界に向けた販売が好調でした。
  - ・「ものづくり補助金」や「生産性向上設備投資促進税制」などの優遇制度が顧客設備投資を促進しました。
  - ・昨年10月から販売を開始しました新機種「火星人 CN050型」が売上の増加に貢献しました。
- 2) 製パンライン等の売上が前年より増加しました。
  - ・コンビニ向けなどの生産用として、品質アップやバラエティー化に対応した、大型の「中華まんライン」、「ペストリーライン」、「ピザ生産ライン」、「クッキー生産ライン」、「餅分割ライン」、「サブレスサンドライン」、「スチーマーライン」などの販売があり好調でした。
  - ・小型のパン生地分割機「EZデバイダー CX011型」がリテールベーカリー向けに販売を伸ばしました。

(海外市場の状況)

- ①アメリカ市場では、外部顧客への売上高は、現地通貨ベースでは前年同四半期比11.0%増加し、円ベースでは前年同四半期比2.8%減少しました。部門別の状況と主な要因は以下のとおりであります。
- 1) 食品成形機の売上が前年より減少しました。
    - ・中南米において、対ドルでの現地通貨安により販売が減少しました。
  - 2) 製パンライン等の売上が前年より増加しました。
    - ・「クッキー生産ライン」、「ブレッドライン」、「餅アイス生産ライン」等の販売があり好調でした。
- ②ヨーロッパ市場では、外部顧客への売上高は、現地通貨ベースでは前年同四半期比3.2%増加し、円ベースでは前年同四半期比9.3%減少しました。部門別の状況と主な要因は以下のとおりであります。
- 1) 食品成形機の売上が前年より減少しました。
    - ・クッキー生産用に「火星人 KN171型」の販売が好調でしたが、1台あたりの単価が下がったため、売上が前年より減少しました。
  - 2) 製パンライン等の売上が前年より外貨ベースでは増加しましたが、円ベースでは減少しました。
    - ・大型の「ビスケットインジェクションライン」、中東で「クッキー生産ライン」の販売がありました。また、ブレッド生産用の「ツインデバイダー VX212型」の販売が前期に引き続き好調でした。
- ③アジア市場では、外部顧客への売上高は前年同四半期比32.9%増加しました。部門別の状況と主な要因は以下のとおりであります。
- 1) 食品成形機の売上が前年より増加しました。
    - ・中華菓子や月餅を生産する「火星人 KN550型、KN500型、KN135型」の販売が好調でした。
    - ・ミニパンを生産する「2列火星人 WN056型」の販売が好調でした。
    - ・チーズ入りハンバーグを生産する「2列火星人 WN155型」の販売が好調でした。
  - 2) 製パンライン等の売上が前年より増加しました。
    - ・ミニパンを生産する「ミニパンパンニングライン」の販売があり好調でした。
    - ・「ハンバーグ生産ライン」、「クッキー生産ライン」、「菓子パン生産ライン」の販売があり好調でした。
    - ・ペストリー生地分割用に「ストレスフリーデバイダー VX121型」の販売があり好調でした。

修理その他は、国内とアジアで売上が前年より増加しました。

**[食品製造販売事業]**

- ①国内市場では、外部顧客への売上高は前年同四半期比5.0%増加しました。
- ・(有)ホシノ天然酵母パン種で、大手ユーザー向けのホシノ天然酵母パン種の販売が好調でした。
- ②アメリカ市場では、外部顧客への売上高は、現地通貨ベースでは前年同四半期比1.9%減少し、円ベースでは前年同四半期比14.0%減少しました。
- ・オレンジベーカーリーで、既存顧客への販売が減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,614百万円増加し、13,034百万円となりました。これは、現金及び預金が306百万円減少、受取手形及び売掛金が1,269百万円増加、商品及び製品が525百万円増加、原材料及び貯蔵品が111百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて423百万円増加し、14,774百万円となりました。これは、有形固定資産が183百万円増加、無形固定資産が27百万円減少、投資有価証券が287百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,037百万円増加し、27,809百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて139百万円増加し、5,386百万円となりました。これは、短期借入金が436百万円増加、未払法人税等が463百万円減少、前受金が318百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて373百万円増加し、2,364百万円となりました。これは、長期借入金が341百万円増加、繰延税金負債が120百万円増加、再評価に係る繰延税金負債が70百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて513百万円増加し、7,751百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,524百万円増加し、20,057百万円となりました。これは、利益剰余金が1,254百万円増加、その他有価証券評価差額金が195百万円増加、為替換算調整勘定が160百万円増加、退職給付に係る調整累計額が60百万円増加したことなどによります。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末の71.9%から72.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の決算発表時(平成28年5月10日)に公表いたしました通期の連結業績予想及び通期の個別業績予想を変更しております。具体的な内容については、平成29年2月1日に公表しております「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、第4四半期以降の想定為替レートにつきましては、1米ドル=113円、1ユーロ=122円としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更等)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,670千円増加しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,813,125	3,507,037
受取手形及び売掛金	3,198,697	4,468,087
商品及び製品	2,606,975	3,132,004
仕掛品	801,251	865,273
原材料及び貯蔵品	598,039	709,149
繰延税金資産	578,736	447,492
その他	331,467	286,093
貸倒引当金	△508,244	△380,597
流動資産合計	11,420,049	13,034,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,754,124	12,867,941
減価償却累計額	△8,261,883	△8,387,402
建物及び構築物(純額)	4,492,241	4,480,539
機械装置及び運搬具	7,300,154	7,601,199
減価償却累計額	△5,165,375	△5,470,903
機械装置及び運搬具(純額)	2,134,778	2,130,295
工具、器具及び備品	1,800,949	1,878,250
減価償却累計額	△1,619,037	△1,649,605
工具、器具及び備品(純額)	181,912	228,645
土地	5,074,602	4,813,877
リース資産	116,899	93,848
減価償却累計額	△73,004	△56,180
リース資産(純額)	43,894	37,667
建設仮勘定	29,396	449,169
有形固定資産合計	11,956,825	12,140,194
無形固定資産	283,762	256,097
投資その他の資産		
投資有価証券	698,487	986,402
退職給付に係る資産	1,237,418	1,243,244
その他	182,950	160,827
貸倒引当金	△7,736	△11,948
投資その他の資産合計	2,111,119	2,378,524
固定資産合計	14,351,708	14,774,816
資産合計	25,771,757	27,809,356



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	941,493	974,142
短期借入金	1,097,798	1,534,692
リース債務	19,073	29,720
未払費用	402,409	347,344
未払法人税等	647,420	183,772
前受金	705,988	1,024,473
賞与引当金	724,228	337,726
役員賞与引当金	66,300	34,200
その他	643,074	920,766
流動負債合計	5,247,786	5,386,837
固定負債		
長期借入金	830,648	1,171,952
リース債務	28,845	12,051
繰延税金負債	524,302	644,654
再評価に係る繰延税金負債	468,958	398,310
訴訟損失引当金	73,278	73,278
資産除去債務	16,446	16,507
その他	48,457	48,150
固定負債合計	1,990,936	2,364,904
負債合計	7,238,722	7,751,742
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,060,750	7,060,750
利益剰余金	10,768,033	12,022,466
自己株式	△782,593	△782,993
株主資本合計	24,397,939	25,651,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,723	246,526
土地再評価差額金	△5,369,745	△5,531,033
為替換算調整勘定	△407,448	△247,344
退職給付に係る調整累計額	△138,434	△77,979
その他の包括利益累計額合計	△5,864,904	△5,609,830
新株予約権	—	15,471
純資産合計	18,533,034	20,057,613
負債純資産合計	25,771,757	27,809,356

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	18,564,232	19,467,596
売上原価	10,013,716	10,539,976
売上総利益	8,550,516	8,927,619
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	194,202	222,990
荷造運搬費	525,153	516,033
貸倒引当金繰入額	13,748	△124,053
販売手数料	348,488	349,451
給料及び手当	2,355,685	2,352,174
賞与引当金繰入額	195,955	181,055
役員賞与引当金繰入額	48,150	34,200
退職給付費用	197,524	190,168
旅費及び交通費	346,468	340,672
減価償却費	199,058	188,943
研究開発費	521,421	526,598
その他	1,405,167	1,522,015
販売費及び一般管理費合計	6,351,024	6,300,251
営業利益	2,199,491	2,627,367
営業外収益		
受取利息	2,556	2,546
受取配当金	17,560	17,701
物品売却益	9,287	7,794
為替差益	16,795	—
保険解約返戻金	3,318	23,701
電力販売収益	21,215	20,339
その他	82,962	87,296
営業外収益合計	153,695	159,380
営業外費用		
支払利息	25,769	17,105
為替差損	—	1,121
電力販売費用	14,737	13,049
その他	10,445	6,013
営業外費用合計	50,952	37,290
経常利益	2,302,235	2,749,456
特別損失		
減損損失	—	292,044
特別損失合計	—	292,044
税金等調整前四半期純利益	2,302,235	2,457,412
法人税、住民税及び事業税	700,747	712,342
法人税等調整額	107,966	210,755
法人税等合計	808,714	923,097
四半期純利益	1,493,520	1,534,314
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,493,520	1,534,314

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,493,520	1,534,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,406	195,803
為替換算調整勘定	33,410	160,104
退職給付に係る調整額	42,866	60,454
その他の包括利益合計	115,683	416,362
四半期包括利益	1,609,204	1,950,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,609,204	1,950,676

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,961,304	1,343,459	2,180,538	1,357,452	11,842,753
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,865,316	55,411	—	—	2,920,727
計	9,826,620	1,398,871	2,180,538	1,357,452	14,763,481
セグメント利益	1,990,472	56,091	147,110	434,545	2,628,220

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	6,345,648	375,830	6,721,478	18,564,232
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23	2,920,751
計	6,345,648	375,853	6,721,502	21,484,983
セグメント利益	741,158	88,974	830,133	3,458,353

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、アルゼンチン
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、イタリア、イスラエル、トルコ
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾、香港、フィリピン

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,458,353
セグメント間取引消去	△146,305
本社一般管理費(注)	△1,112,556
四半期連結損益計算書の営業利益	2,199,491

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,529,234	1,306,050	1,977,040	1,804,151	13,616,476
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,609,545	32,224	—	90	2,641,860
計	11,138,780	1,338,275	1,977,040	1,804,241	16,258,337
セグメント利益	2,337,553	69,550	99,734	626,953	3,133,792

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	5,456,381	394,737	5,851,119	19,467,596
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,641,860
計	5,456,381	394,737	5,851,119	22,109,456
セグメント利益	598,196	101,636	699,832	3,833,625

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、フランス
- (3) アジア……………韓国、中国、タイ、台湾、ベトナム

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,833,625
セグメント間取引消去	△67,477
本社一般管理費(注)	△1,138,779
四半期連結損益計算書の営業利益	2,627,367

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品加工機械製造販売事業(日本)」セグメントにおいて、土地の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては252,304千円であります。

「食品製造販売事業(日本)」セグメントにおいて、土地、建物及び構築物の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては31,059千円であります。